

## 枝幸町における総合型スポーツクラブへの支援実践（2） —2018年度の取り組み報告—

A Study on the Support System of Community Sport Clubs (EMSC)  
in the Esashi Town (2) : Report of the Support in 2018-2019

竹 田 唯 史 <sup>1)</sup>	上 田 知 行 <sup>1)</sup>
TAKEDA Tadashi	UEDA Tomoyuki
山 本 敬 三 <sup>1)</sup>	永 谷 稔 <sup>1)</sup>
YAMAMOTO Keizo	NAGATANI Minoru
山 本 敏 美 <sup>2)</sup>	近 藤 雄 一 郎 <sup>3)</sup>
YAMAMOTO Toshimi	KONDO Yuichiro
藤 原 信 介 <sup>4)</sup>	井 上 諭 一 <sup>5)</sup>
FUJIWARA Shinsuke	INOUE Yuichi

### I. はじめに

我が国におけるスポーツ振興は学校体育と企業スポーツを中心として行われてきたが、少子化、高齢化社会、企業のクラブ経営難などの影響によりスポーツ環境の転換を図るべく、身近な地域に生涯にわたってスポーツに親しめる環境の整備と「住民主体」によって運営されるシステムを志向する総合型地域スポーツクラブの設立が推進されてきた<sup>1)</sup>。1995年に文部省（現文部科学省）が「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を開始して以来、2017年7月現在全国で3580（創設準備段階も含む）のクラブが育成されてきている<sup>2)</sup>。

2000年には、文部科学省が「スポーツ振興

基本計画」（2006年改定）を策定し、この基本計画における生涯スポーツに関する政策目標として、生涯スポーツ社会を実現するために成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人になることを目指すことを掲げている<sup>3)</sup>。また、具体的な施策として2010年までに各市区町村に少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブを設立することと、総合型地域スポーツクラブの育成を支援する広域スポーツセンターを各都道府県に少なくとも1つは設置することを位置づけている。したがって、生涯スポーツ社会実現のためには、総合型地域スポーツクラブの貢献が重要な役割を担っているといえる。

北海道では、道内179市町村のうち107の市町村で総合型地域スポーツクラブが設置され

1) 北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 2) トレーニングパーク手音

3) 福井大学教育学部 4) Curious health and strength 5) 枝幸三笠山スポーツクラブ

ており、創設準備中も含め159のクラブが設立されている(2017年7月現在)<sup>2)</sup>。その中の1つに、枝幸三笠山スポーツクラブ(以下、エムスク)がある。エムスクは、2010年に設立(2012年に法人格取得)され、町民の健康と福祉の増進、子どもたちの健全育成、コミュニティの形成を目的として、幼児から高齢者までを対象とした各種スポーツ教室やスポーツイベント、カルチャースクール等の事業を展開している。エムスクと北翔大学は2017年度より3年計画で「スポーツ・健康・合宿誘致等プログラム構築事業」を推進している。本事業は、「1. 地域資源を活用した着地型スポーツメニュー、競技力アップ・健康づくりプログラム、ヘルスツーリズム商品造成」、「2. 専門人材の招聘によるトレーニング指導者養成講習会の開催」および「3. ICTを活用したトレーニング処方システムの導入と広報機能の強化」の事業内容で構成されている<sup>4)</sup>。そこで、本稿では北翔大学による枝幸町総合型地域スポーツクラブへの支援実践として、上記3事業内容の2018年度における取り組みについて報告する。

## II. 2018年度報告

### 1. 地域資源を活用した着地型スポーツ合宿メニュー、ヘルスツーリズム商品の開発

#### 1) 合宿誘致のための協議会とセミナーの実施

実施日時：平成30年7月23日(月)13:30～15:00関係者協議(枝幸町役場にて)

18:30～20:00 セミナー(エムスクにて)

実施内容：枝幸三笠山スポーツクラブ副理事

長井上諭一氏、ふるさと観光課、観光協会、ニュー幸林、教育委員会とともに、これまでの枝幸町における合宿誘致における経過と現状を確認した。前回の訪問からは相互理解が進んでいるように見受けられたが、主目的でもある「スポーツ合宿で人の流れを作る」ことに関するイメージや具体策を計画立案できている状況にはなかった。共通理解は得られており、具体的なロードマップや役割分担をいかにしていくかが鍵となった。

セミナーにおいては、町民、関係者も含め30名ほどが集まり、「スポーツ合宿によるまちづくり」と題した講演とその後情報交換として、参加者との意見交換を行った。町民の参加者も少年団や競技団体関係者が多く、意義ある時間となった。

#### 2) 車いすバスケットボール北海道選抜チーム

合宿受け入れに対するアンケート調査・分析

実施日時：平成30年9月21(金)～23日(日)

実施内容：平成30年10月に福井で開催される

「全国障がい者スポーツ大会」に出場するため、枝幸町で実施した事前合宿に対する

アンケート調査・分析を実施した。集計結果およびコメントを付しフィードバックを

行った。22名のサンプルであったが、およそ好意的な回答が多かった。車いすの障がい者ということで施設に対する問題課題は

あるものの、受入体制やホスピタリティー

に対しては非常に評価が高かった。

#### 3) スポーツ合宿誘致推進協議会設立に向けて

の関係者との協議と設立準備会の実施

実施日時：平成30年12月3日(月)

14：30～16：00 関係者協議

14：30～16：00 設立準備会

7月末後の具体策や計画立案について、前回と同じメンバーに加え財政課を加えて確認をした。しかしながら、ファシリテーターが曖昧であり、町の事業でありながらエムスクに依存する状況が垣間見られた。事業実施の上では予算担保が不可欠であるなか、新たな大きな事業を進めて行くより合宿実施実績を着実に積む方が得策との意見もあり膠着したが、町として進めていく大筋に変わりはないことが確認された。

合宿誘致推進協議会および設立準備会と題して行政、スポーツ協会や少年団、観光協会、商工会などの関係が参集し、これまでの経過の再確認と、話題提供として津別町教育委員会石川波江氏からのスポーツ合宿成功例が紹介された。その後、設立準備会と称し、会として成立させたものの、どのように合宿誘致推進として動くべきか具体策や計画立案には至っておらず、関係者間での調整やリードオ

フ、ファシリテートを期待する必要がある。

来年度に向けては、町の補助金を活用して合宿を誘致し、実績を作り、関係各署と協議しながら持続可能なシステムを構築することが課題としてあげられた。

## 2. トレーニング指導者の養成と競技力アップ・健康づくりプログラムの開発と運用

### 1) 「エムスク元気クラブ」のプランニング

平成29年度の協議の結果、枝幸町の健康と福祉の増進をスポーツ活動を通じて解決することを掲げ、健康スポーツサービスを中心に自らが支え合う循環型ビジネスを目指すことで、町民参加型ビジネスモデルを確立することを目標として、エムスク内に「エムスク元気クラブ」を立ち上げることとした。4月から8月まで5回の打ち合わせ実施し、加入時の承諾書、問診票、健康チェック等の対応、個別相談の適用期間の対応、無料体験等周知広告の対応、個別相談プログラムおよび集団プログラムへの対応、ICTシステムとの連結



## 枝幸町総合体育館 では

### 健康・体力づくりを応援します!






**InBody (インボディ) 登場!** 料金 1回 1,080円

体組成を測るだけでなく、体成分分析(体脂肪率、タンパク質量、ミネラル量、体脂肪率) 筋肉量・体脂肪率・肥満指数(BMI)、体脂肪率・部位別体脂肪率・部位別体脂肪率・体脂肪率(体脂肪率、筋肉の構成)としての体質・筋肉内脂肪(上下の筋肉の内蔵量)・部位別体脂肪率・内蔵脂肪レベル・研究報告(骨格筋量、基礎代謝量、体質)の測定ができます。

基礎代謝量の多いカラダは燃やすすくて、健康的なカラダです。自分の身体を測ろう!

Q) 代謝量を測やすにはどうしたらいいの?

A) それは筋肉を増やすことです!!

▼ エアロバイク・ランニングマシン・上半身や下半身を鍛えるマシンなどがそろいました。季節や天候に左右させずいつでもトレーニングができます。体育館ロビーにもエアロバイク・ランニングマシンがあります。

#### 「エムスク年会員」制度スタート

エムスク年会員とは、今年度から始まるエムスクの会員制度です。年会員になることにより、ピタター会員より格安にプログラムに参加することができます。たくさんの特典あり!

- ◆ 年会費…(個人) 3,000円(税込)
- ◆ チケット…1枚 540円(税込)

**【エムスク年会員の特典】**

1. 会員証進呈。エムスクオリジナル収容カードケースプレゼント。
2. 入会時に「InBody」(インボディ)無料測定(お一人様1回)。
3. その他、7月、11月、3月の数回(30年後1時から午後8時のいずれの無料でご利用いただけます)。
4. プログラムの割引権(チケット利用枚数が非会員よりお特!!)。
5. トレーニング室利用券(100円券10枚セット)プレゼント。
6. 各種プログラム先行案内。

#### トレーニング個別プログラム作成(予約制)

エムスクでは、北翔大学生産スポーツ学部とプロジェクトを組み、トレーニングプログラムを作成いたします。エムスクスタッフが研修を履修、町民の皆さんの健康をサポートいたします。

～個別プログラム作成までの流れ～

- ① 問診
- ② InBody測定…体成分分析より身体の状態を知りましょう
- ③ 体力測定…現在の体力を測定します
- ④ プログラム作成…目標を設定しトレーニングプログラムを作成します
- ⑤ プログラムに合わせたアドバイス・プログラム作成後担当職員よりアドバイスさせていただきます。

【料金】●エムスク年会員 チケット2枚 ●ピタター会員 チケット4枚

図1 エムスククラブとトレーニング個別プログラムの募集

などについて協議した。結果として「エムスク年会員」「トレーニング個別プログラム」の募集を実施することができた(図1)。

## 2) スタッフ養成研修会の開催(基礎コース・実践コース)

下記の日程において、枝幸町総合型地域スポーツクラブ(EMSC)スタッフ養成研修会を実施した。

4月23日(月)～4月24日(火)は、健康体力相談プログラムに必要な一連の流れについて資料を示しながら実施した。体調チェック-PREPトレーニング-情報収集-体力測定-プログラム作成-個別指導の流れをスタッフ間で共有した。以上の流れを演習形式で実施

し、一般利用者が理解しやすい指導の方法を学んだ。

5月13日(日)～5月14日(月)は、健康体力相談プログラムのモニター研修を実施した。一般利用者からモニター相談者を募り、上田が担当し実施した。健康体力相談プログラムについて、スタッフが相談者となり、演習形式で実施した。

5月28日(月)～5月29日(火)は、集団プログラムで予定している健康づくりプログラムについて、指導案作成のための実習を行った。水中運動指導に必要な基礎的知識、水の特性と生理的反応について講義を行い、プールで水中運動の実技を実施した。

6月27日(水)～28日(木)は、6月か

表1 スタッフ養成研修会日程・内容

コマ	期日	時間	内容
1	4月23日(月)	60分 13:00～14:00	基礎コース 健康相談プログラム① 流れ説明
2	4月23日(月)	60分 14:20～15:20	基礎コース 健康相談プログラム② 演習
3	4月24日(火)	70分 9:00～10:10	実践コース サーキットトレーニングプログラム①
4	4月24日(火)	70分 10:30～11:40	実践コース サーキットトレーニングプログラム②
5	5月13日(日)	50分 13:00～13:50	実践コース 健康体力相談プログラム モニター研修①
6	5月13日(日)	50分 14:00～14:50	実践コース 健康体力相談プログラム モニター研修②
7	5月13日(日)	50分 18:00～18:50	実践コース 健康体力相談プログラム モニター研修③
8	5月14日(月)	70分 9:00～10:10	実践コース 健康体力相談プログラム 演習④-1
9	5月14日(月)	70分 10:30～11:40	実践コース 健康体力相談プログラム 演習④-2
10	5月28日(月)	70分 13:00～14:10	実践コース 集団プログラムの指導案作成実習
11	5月28日(月)	70分 14:30～15:40	基礎コース 水中運動の基礎的知識
12	5月29日(火)	70分 9:00～10:10	基礎コース 水中運動指導(水の特性と生理的効果)
13	5月29日(火)	70分 10:30～11:40	基礎コース 水中運動実技
14	6月27日(水)	60分 19:00～20:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
15	6月27日(水)	60分 20:00～21:00	実践コース 個別相談プログラム実習

16	6月28日(木)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
17	7月11日(水)	60分 19:00～20:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
18	7月12日(木)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
19	7月12日(木)	60分 13:00～14:00	基礎コース 水中運動実技
20	7月13日(金)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「健康教室」
21	7月25日(水)	60分 19:00～20:00	実践コース 集団プログラム「水中運動教室」
22	7月26日(木)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
23	7月26日(木)	60分 13:00～14:00	実践コース 集団プログラム「水中運動教室」
24	7月26日(木)	60分 18:00～19:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
25	7月27日(金)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「大人のコーディネーション」
26	8月1日(水)	60分 19:00～20:00	実践コース 集団プログラム「水中運動教室」
27	8月2日(木)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
28	8月2日(木)	60分 13:00～14:00	実践コース 集団プログラム「水中運動教室」
29	8月3日(金)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「大人のコーディネーション」
30	8月8日(水)	60分 19:00～20:00	実践コース 集団プログラム「水中運動教室」
31	8月9日(木)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「サーキットトレーニング」
32	8月10日(金)	60分 10:00～11:00	実践コース 集団プログラム「大人のコーディネーション」
33	9月3日(月)	60分 13:00～14:00	実践コース エアロビックエクササイズの指導基礎
34	9月4日(火)	60分 10:00～11:00	実践コース 用具を用いたトレーニング
35	10月29日(月)	60分 13:00～14:00	実践コース エアロビックエクササイズの指導基礎
36	10月30日(火)	60分 10:00～11:00	実践コース サーキットトレーニング
37	11月19日(月)	60分 13:00～14:00	実践コース エアロビックエクササイズの指導基礎
38	11月20日(火)	60分 10:00～11:00	実践コース サーキットトレーニング
39	2月11日(月)	120分 14:00～16:00	実践コース 個別トレーニング研修
40	2月12日(火)	70分 9:00～10:10	基礎コース・実践コース 振り返り研修①
41	2月12日(火)	90分 10:30～12:00	基礎コース・実践コース 振り返り研修②, 修了式

ら開始したエムスク無料体験プログラムで、  
実技指導を通じてサーキットトレーニング教  
室、個別健康体力相談プログラムについての  
実務研修を行った。

7月11日(水)～13日(金)は、前回同様、  
6月から開始したエムスク無料体験プログラ  
ムで、実技指導を通じて実務研修を実施した。  
サーキットトレーニング教室、水中運動実技



研修を行った。

7月25日(水)～27日(金), 8月1日(水)～3日(金), 8月8日(水)～10日(金)は, 水中運動, サーキットトレーニング, 大人のコーディネーションを実施した。

平成30年9月3日(月)～4日(火), 10月29日(月)～30日(火), 11月19日(月)～20日(火)は, エアロビックエクササイズの基本, 「用具を用いたトレーニング指導について」「サーキットトレーニング指導のヒント」を藤原信介氏により実施した。

2月11日(月)～12日(月)は, これま



図2 修了証 (基礎コース)

での研修の振り返りを行い, 修了式を行った。基礎コース13名, 実践コース7名が修了し, 修了証を授与した(図2)。

### 3) 指導者予備軍の発掘・養成研修会の開催

以下の日程で全2回, 指導者予備軍の発掘のための市民講座を実施した。

昨年度立案したエムスクのプランニングを実現させるため, 多くの協議を行い試行しながら実施した。利用者の意見や参加傾向を分析しながら修正を繰り返し, 一定程度の会員増につなげることができた。スタッフの養成について, 昨年度の基礎コースと今年度からの実践コースという積み上げにより, より深い理解につなげることができた。担当スタッフの意欲的な取り組みとして, 研修会で扱った内容を取り入れ, トレーニング室利用者の利便性向上に関する新たな取り組みの提案があり実現された。

しかしながら, 基礎コースに参加してきたすべてのスタッフが指導に携わるまでには至らず, 指導担当者が偏ることとなった。今後はどのスタッフも担当できる体制整備の構築が, 収益性の確保のためにも望まれる。行政機関とは意見交換の機会があったが, 連携を深めるところまでは至らなかった。今後運動実施者の増加や健康づくりによる疾患予防には, 強い連携が必須であり注力する必要があると考える。

表2 市民講座日程・内容

コマ	期日	時間	内容
1	4月23日(月)	120分 18:00～20:00	枝幸町の健康スポーツについて グループディスカッション
2	5月28日(日)	90分(質疑を含む) 18:00～19:30	健康づくり講座 「水中運動教室」

4) 競技力アップ→トレーニング講習会の実施  
実施日時：平成30年9月16日（日）

9時30分～11時45分

参加対象：高校生以上の町民の方々

参加人数：6名

実施内容：トレーニング機器を利用した運動の効用について、トレーニングを持続的、効率的に行う為の方法を講話した。トレーニングの原理・原則、PDCAサイクルの説やトレーニングプログラムの使用方法など説明した。タブレットを利用したトレーニング処方システム「えむトレ」を使用しながらトレーニングの流れ、タブレットの使用方法を説明し、トレーニング機器の使い方の実技を実施した。

上半身マシン：シーテッドロー（上背部）

アームカール（上腕部）

体幹マシン：アブドミナルクランチ(腹部)

バックエクステンションベンチ  
（下背部）

参加者の反応：地震や連休の合間、他のイベントと重なり参加人数は少なくはあったが、参加された方は熱心にタブレットの操作、トレーニング方法を聞いていた。新しいマシンが導入され、参加者自身で使用していたが、正しい使い方を知り、効果が全然違う事を実感していた様子であった。参加者の中で、膝を痛めて、病院からはウォーキングを勧められたが、冬場はどのように運動したらよいかなどの質問もあった。

しかし、トレーニングマシンの正しい使い方を知らず、トレーニング効果が半減する方がほとんどのため、町民を対象としたトレーニングマシン説明会が必要と感じた。

そして、トレーニング処方システムを実

際に使用するにあたり、今後の改善点もあった。

### 3. ICTを活用したトレーニング処方システムの導入と広報機能の強化

実施日時：平成30年5月21・22日，平成30年7月23・24日

実施内容：

#### 1) 背景と目的

トレーニング施設の管理者にとって、利用者の施設利用状況を把握することは、施設運営に重要な情報の一つとなり得る。また、トレーニング指導者にとっても、利用者に適切なアドバイスを与える上で、利用者の過去のトレーニング記録を把握することは有益な情報である。そこで、昨年度は利用者の施設利用状況を把握できるシステムを構築した。今年度は、施設利用者の受益も加味した改良版のシステム構築を目指した。システムのコンセプトは下記の通りである。

- ①施設利用者のトレーニングの記録と管理を行える。
- ②利用者はタブレットPCを用いてデータを入力し、無線LAN環境のインターネット経由でサーバーPCにデータを送信する。
- ③利用者が簡単に入力できるアプリデザインを設計する。
- ④施設管理者は、利用者全員の入力データをサーバーPCで一元管理できる。
- ⑤施設管理者は、複数のトレーニングメニューを組み合わせて一連のトレーニングプログラムを作成することができる。
- ⑥上記のトレーニングプログラムを目的別に複数作成することで、利用者のニーズに対応することができる。

- ⑦トレーニングプログラムは、本プロジェクトの運動指導者の方針に基づいて構築する。
- ⑧利用者は、自身の目的にあるプログラムを選択し、自身のレベルに合わせてトレーニング強度を調整することができる。

## 2) システムの構築方法

本システムの構築に際しては、Google社が提供するアプリケーション（以下、アプリ）・サービスを利用した。このサービスを採用した理由は次のとおりである。

- ①Google社では、アカウント取得者に無料のクラウドストレージ（15GB）が付与される。
- ②インターネット環境では、ウェブブラウザ経由でデータの収集と分析が可能である。

- ③データ収集や分析のためのアプリが充実している。
- ④施設の整備状況に合わせて、施設管理者が柔軟にシステムを修正・再設計することができる。

利用者は、トレーニング後に自身が行ったトレーニング内容（データ）をタブレットPCから入力し、サーバーPCへ送信する。データはサーバーPCで自動受信され、データベース化される。施設管理者はGoogleスプレッドシート（表計算アプリ）で閲覧、分析できる。

今年度は、目的別トレーニングプログラムとして、「体力アップコース」や「関節にやさしい体力アップコース」、「ダイエットコース」などのプログラムを作成した（図



図3 実際に作成されたトレーニングプログラムの選択画面



**マシントレーニングを行います**

上から順番にマシントレーニングを行います。  
同じ番号のマシンを使用しトレーニングを行ってください。

各マシンの使用方法

⑫レッグプレス  
https://youtu.be/siz9F0GV4dl

⑬シーテッドレッグカール  
https://youtu.be/3SX6VPFODW8

⑤チェストプレス  
https://youtu.be/Cm9Ka-axmal

⑥ラットプルダウン  
https://youtu.be/FqRuY953G-o

⑨アブドミナルクランチ  
https://youtu.be/YGp8jF-hdCw

**マシン・トレーニング (10回x2セット)**

	レベル1	2	3	4	5	6	7	8	9	レベル10
⑫レッ...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑬シー...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤チェ...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥ラッ...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑨アブ...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

3)。それぞれのコースでは、血圧や体調、ウォーミングアップやストレッチのやり方、マシントレーニング方法などの一連の運動課題がWeb上で確認でき、利用者自身が行ったトレーニング強度を入力するWebフォームが用意されている。利用者のフォーム入力作業を簡略化するため、各マシンのウェイトに10段階のレベルを表示し、フォームには、そのレベルを選択するだけの仕様とした(図3)。

利用者は、自分に適したトレーニングを選択することができる。また、トレーナーからのフィードバックをメールで受信することをリクエストすることもできる。

### Ⅲ. まとめ

本稿では北翔大学による枝幸町総合型地域ス

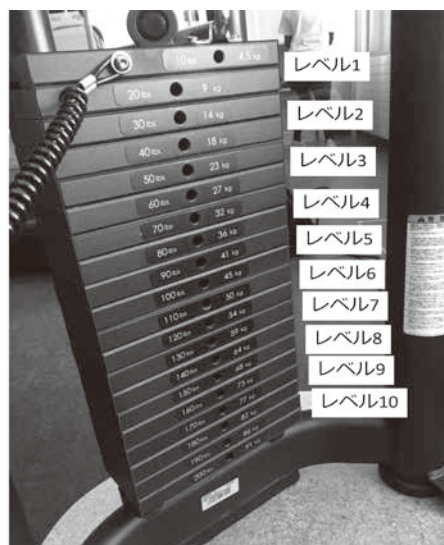


図4 マシントレーニングの入力フォーム(上)とレベル表示のイメージ図(下)

利用者のWebフォーム入力作業を簡略化するため、各マシンのウェイトに10段階のレベルを表示し(下図)、フォームには、そのレベルを選択するだけの仕様とした(上図)。

ポーツクラブへの支援実践として、「スポーツ・健康・合宿誘致等プログラム構築事業」における「1. 地域資源を活用した着地型スポーツメニュー, 競技力アップ・健康づくりプログラム, ヘルスツーリズム商品造成」, 「2. 専門人材の招聘によるトレーニング指導者養成講習会の開催」および「3. ICTを活用したトレーニング処方システムの導入と広報機能の強化」の2018年度における取り組みについて報告した。

富山ら<sup>5)</sup>は地域社会への貢献活動は大学存続の意義であり, 社会貢献活動は研究の成果に基づいた実践の場であるとともに, 社会貢献の場そのものが研究のデータを核とする場であることとらえることもできると述べている。このことから大学の持つ資源を活かしながら総合型地域スポーツクラブへの支援を行い, スポーツ活動を通じて地域のスポーツ環境の充実と改善に貢献していくことは, 大学・総合型地域スポーツクラブ・地域住民の三者にとって意義のある活動であると考えられる。また, 全国的に総合型地域スポーツクラブの数が拡大しているが, 拠点施設の不足や指導者の養成, 財源の確保, 地方自治体との協働などの課題も挙げられる<sup>6) 7) 8)</sup>。これらの課題を解決し, 総合型地域スポーツクラブの発展に寄与するためにも, 大学が地域と連携して事業を推進していくことには意義があると考えられる。

今後の課題として, 2018年度の取り組みで明らかとなった課題について改善を行い, 2019年度の支援実践の中で計画内容をより具現化していくことが挙げられる。

## 文 献

- 1) 日本スポーツ協会ホームページ総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018 (<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid394.html> (2018年12月26日閲覧))
- 2) スポーツ庁ホームページ平成29年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査 ([http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399744.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399744.htm) (2018年12月26日閲覧))
- 3) 文部科学省ホームページ総合型地域スポーツクラブ育成マニュアル ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/club/061.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/club/061.htm) (2018年12月26日閲覧))
- 4) 竹田唯史, 上田知行, 山本敬三, 永谷稔, 井出幸二郎, 山本敏美, 近藤雄一郎, 井上諭一: 枝幸町における総合型スポーツクラブへの支援実践: 2017年度の取り組み報告, 北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要, 10, 119-131, 2019.
- 5) 富山浩三, 川西正志, 北村尚浩, 石澤伸弘, 仲野隆士, 杉浦弘一: スポーツとまちづくりにおける大学の役割—体育系大学の社会貢献を通じたまちづくりのあり方—, SSFスポーツ政策研究, 1-1, 111-120, 2012.
- 6) 永谷稔 (北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター編): 北方圏における生涯スポーツ社会の構築, 14-21, 響文社, 2010.
- 7) 上村真澄, 小田伸午: 総合型地域スポーツクラブの再建に関する研究: 大学, 地域, 企業との連携の試み, 関西大学人間健康研究科論集, 1, 51-63, 2018.
- 8) 相原正道, 谷塚哲: スポーツ文化論, 63-87, 晃洋書房, 2019.